

## 2. 初めての文献検索

文献検索に関する疑問点について、  
指導医のダイバー先生が解説しています



ダイバー先生



### 文献検索はなぜ必要？

学会では、先行研究から研究が解決できないことや、先行研究にはなかった新しいことを発見したことなどを報告します。

そのため、『現在どこまでのことが既知で』  
『どの程度以上のことが未知であるのか』について  
根拠を明確に示す必要があります。



国内の文献にとどまらず、海外の文献も積極的に読む  
ことをお勧めします。

最初は大変ですが、読み重ねることで、次第に慣れて  
いきます。海外の文献を読むことにより、国内では知  
られていない新しい情報を得ることができます。



## 文献データベースって何？

### 国内誌

#### ■ 医中誌：

医学中央雑誌刊行会が提供している国内医学論文情報のインターネット検索サービス。一部、オンラインジャーナルへのリンクが表示される。有料契約が必要。

#### ■ J-STAGE：

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)が運営する電子ジャーナルプラットフォーム。日本国内の学協会等が発行する科学技術刊行物を公開。掲載されている9割以上の記事が無料で閲覧可能。

#### ■ メディカルオンライン：

株式会社メテオが運営する医療関係者のための医療情報の総合WEBサイト。日本国内の学会・出版社が発行する医学関連雑誌に掲載された文献を検索でき、全文閲覧とダウンロードが可能。会員制の有料サイト。

### 国外誌

#### ■ PubMed：

アメリカのNCBIが提供する世界約70カ国、約5,000誌以上の文献を検索できる医学・生物学文献データベース。すべて無料で検索可能。

#### ■ Google Scholar：

Googleが提供する無料の学術論文検索サービス。論文、学術誌、出版物の全文やメタデータにアクセス可能。

## 2. 初めての文献検索



### 実際の文献検索の仕方は？

#### 1. 幅広く情報を入手する

まず、文献データベースを使用して、自分の研究テーマと同じ分野・テーマを検索してみましょう。

#### 2. 研究テーマに関してさらに絞り込む

検索で大量の論文がヒットしたはずですが。慣れないうちは最新10年以内の論文がよいでしょう。その中から、題名やabstractから、自分の関心のある論文を抽出していきましょう。すべての論文を熟読するのは大変です。まずは広く浅く自分のニーズにあった論文を探しましょう。無料の翻訳サイトなども使用すると効率が上がります。

これらのサイトを使用してまずは大まかに内容を把握し、ニーズに合った論文を抽出していきます。

#### 3. 研究発表に必要な文献を選定する

広く浅く厳選できた論文を、今度はしっかり熟読してみましょう。自分の研究とは異なる点は何か、自分の研究と比べて良い点と悪い点はどこかなどを意識し、要点を適宜記録するようにすると良いです。（後から振り返るのは大変ですし、発表の際にreferenceとして記載するのが楽になります）。

## 2. 初めての文献検索



### 『質の良い』論文を選ぶポイントは？



論文をただ読むだけでなく、“どれを参考にすべきか”を見極める目を持つことが大切です。  
ここで紹介するポイントを意識してみてください。

#### ■ 指標を参考にする

Impact factor（学術雑誌の影響度を評価する指標）が高い雑誌や、引用数が多い論文は質の良い指標となることがあります。

#### ■ 学会誌から選択する

国際誌がよくわからない場合は、学会誌は良質な査読と質が担保されていることが多いです。

#### ■ 指導医に質問する

指導医に自分が選んだ論文の率直な感想を聞いてみるのもいいでしょう。